

人口と世帯 3.8.1 現在
総人口 16万2114 人 (前月比+ 36)
内 訳男 8万2077 人 (前月比+ 18)
女 8万 37 人 (前月比+ 18)
世帯数 7万 788 世帯 (前月比+ 56)

広報 はだの

令和3年(2021年)

8/15

No.1268

主な内容

- ◇新型コロナウイルス情報 (2面)
- ◇ふるさと寄附金協力事業者募集 (3面)
- ◇対談企画「市長が行く」スタート (4面)
- ◇掘り取り観光の参加者募集 (4面)

毎月2回(1日・15日)発行

編集・発行 秦野市 政策部広報広聴課 〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号 代表 ☎0463(82)5111 FAX 0463(82)9792 <https://www.city.hadano.kanagawa.jp>



就任 はだのふるさと大使 加藤 優さん



パサデナ市を訪問したチームメートは今も友情が続く大切な仲間 (平成20年)



市公式YouTube「はだのモービク」で任命書授与式と市民の皆さんへのメッセージ動画を公開中



大使就任後初仕事は7月27日に開催した「少年少女軟式野球教室」

スマホから1分で回答
広報はだの紙面アンケート

Profile 平成7年秦野市生まれ。父親が創設した野球チーム「秦野ドリームス」に所属し、5歳から野球を始める。小学6年生のときに、秦野市選抜として姉妹都市パサデナ市での交流試合に出場。県立厚木商業高校在学中に、企業チーム「アサヒトラスト女子硬式野球部」に入団。女子野球日本代表候補に選出される。平成28年から令和元年まで女子プロ野球チーム「埼玉アストライア」に所属。令和元年、外野手部門でベストナインを受賞。今年8月、全日本女子硬式野球選手権大会を最後に現役引退。横浜DeNAベイスターズのスクールコーチ、テレビ番組やYouTube出演など多岐にわたる活動をしている。

問い合わせ 広報広聴課 ☎(82)5117

東京2020オリンピック開会式の7月23日、スポーツ分野から初となる大使が仲間入りした。加藤優さん(26歳)が野球を始めたのは5歳のとき。「両親から赤いグローブをもらったんですよ」とうれしそうに昔を懐かしむ。思い出の場所を尋ねると、「なでしこ運動広場」と野球少女だった彼女らしい答えが返ってきた。「いつか住みたい場所のランキングがあったら、不動の一番」と力説するほどの秦野好き。21歳のときプロ入りを機に秦野を離れたが、恋しくなると、時々実家に帰って来るんだそう。自然が多く落ち着くことに加えて、「温かい人が多い」と地元愛をにじませる。自宅で練習していた頃を思い出しながら、「近所の皆さんがいつも応援してくれた」と感謝する。そんな地元の声援に応えるべく、結果を残してきた。現役を引退した今、歌やテレビ出演など活躍の場をさらに広げる予定だ。もちろん、野球から離れるわけではない。野球教室のコーチなど、これからの野球界を背負って立つ世代の育成にも力を入れる。「できた瞬間の子供たちのうれしそうな顔が、何よりの喜びですね」と顔をほころばす。心掛けているのは、野球を好きになって楽しんでもらうということ。「子供たちの成功体験を増やしていきたいんです」

女子野球界をけん引してきた加藤さん。今後は秦野と野球という二つの「ホーム」の魅力発信に、全力投球してくれるはずだ。

緊急事態宣言発令中 **新型コロナウイルスの拡大防止にご協力をお願いします** **引き続き、基本的な感染症対策の徹底、不要不急の外出自粛をお願いします。** **ワクチン接種など感染症関連情報は2・4面に掲載**

見て・聴いて・知って 住みよいまちに

始まります

市長が行く Vol. 1

高橋市長が、医療・産業・教育など多岐にわたるテーマに沿った現場を訪ね対談形式で意見を聴き、市政への反映や本市の魅力向上を目指す取り組みです。

第1回は、市民の命と健康を守るために新型コロナワクチン接種の現場の最前線で活躍する、秦野伊勢原医師会・救急担当理事の内藤剛彦医師と対談しました。

テーマ ワクチン接種から見る地域医療
対談内容 ◇新型コロナワクチン接種 ◇医療従事者から見た現状と今後 ◇行政と医療の連携・協力 ◇市民の皆さんに伝えたいこと



ワクチン接種の現状を語る
高橋市長(左)と内藤医師(右)

対談レポートを市ホームページで公開中。次の場所でも配布しています

配布場所 市役所2階広報広聴課、公民館など



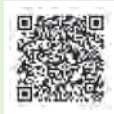
問い合わせ 広報広聴課 ☎(82)5117

第5弾 もりりん LINEスタンプ販売中

くずはの家のマスコットキャラクター、森の妖精もりりんの新しいスタンプが登場しました。東京2020オリンピック・パラリンピック開催に合わせて、もりりんがいろいろなスポーツにチャレンジしています。



LINEスタンプショップで販売中(120円)



問い合わせ 環境共生課 ☎(82)9618

作品募集

市民芸術の祭典 秦野市展



昨年の写真の部大賞「収穫祭のひととき」

問い合わせ 文化振興課 ☎(86)63009

道協会に所属している方 ※市内の写真クラブ在籍者なども可
応募方法 作品に出品票(市役所教育庁舎1階文化振興課、クアーズテック秦野CH、駅連絡所、公民館、市ホームページ)に添えて、各搬入日にクアーズテック秦野CHへ持参
搬入日時 ◇美術の部 10月25日(月) 午前10時~午後2時 ◇写真の部 11月8日(月) 午前10時~午後2時 ◇書道の部 11月15日(月) 午前9時~午後11時 ※代理人の搬入も可。指定日時以外の搬入は事前に連絡

10月27日(水)~11月21日(日)にクアーズテック秦野CHで開催する市展に、応募しませんか。
応募資格 市内在住・在学・在勤の方(中学生以下を除く)または市美術協会・写真連盟・書道協会に所属している方

クアーズテック秦野カルチャーホール チケット情報

販売中

文化会館ミュージックアドバイザー
山田和樹プロデュースvol.7
ピアニスト奥井紫麻



8月27日(金) 午後2時~ 小ホール
2000円(25歳以下の学生は1000円) ※福寿・友の会の割引あり

神奈川フィル
フューチャー・コンサート
秦野公演



9月12日(日) 午後2時~ 大ホール
3500円(25歳以下の方は1500円)

※いずれも全席指定。未就学児は入場できません。

問い合わせ 文化会館事業協会 ☎(81)1211

参加者募集

秋の味覚を満喫 掘り取り観光



収穫物	ところ(地区)	とき	費用
落花生(郷の香)	大倉	9月4日(土)~10月3日(日)	15株1000円
	東田原	9月11日(土)~10月17日(日)	
落花生(おまさり)	東田原	10月中旬~11月中旬	15株2000円
サツマイモ	大倉	9月4日~10月3日	1株150円
	東田原	9月11日~10月17日	1株200円

※東田原は月・水・金曜日を除く。

申し込み ◇大倉 大倉掘り取り観光組合・山口 ☎(88)6180 ◇東田原 東田原ふれあい農園組合・古谷 ☎090(2245)9020・大津 ☎090(2624)5239 ※いずれも予約制。正午~午後1時と午後7時~9時に受け付け

問い合わせ はだの都市農業支援センター ☎(81)7800

〈広告の掲載・お問い合わせは、広報広聴課までお気軽にご連絡ください〉

補聴器はメガネのエドヤ

よい聞こえて生活が変わる! 補聴器の驚くほどの性能をあなたにもご家族にもお届けします。



0463-82-0033
まずはお電話でご相談下さい!

秦野中央眼科となり

市役所 秦野中央眼科 イオン
横浜銀行 四つ角
秦野駅 当店駐車場 当店

秦野市栄町5-22 駐車場8台あります
営業 10:00~18:00 定休日水日祝

聴力測定・試聴・ご相談は無料です。

布団が洗える24H大型コインランドリー
フロンきぎのジロー
NEW OPEN!! 秦野平沢店

全自動大型洗濯乾燥機完備
☑ スタッフ滞在で初めての方でも安心サポート!
☑ 衣類だけでなく敷布団や掛布団もセルフで丸洗いOK!

布団を持ってこられるだけ! スタッフおまかせ洗い

料金
《敷布団》2,500円(税込)~
《掛布団》2,000円(税込)~
※サイズ・素材によって異なります
◆お得なセットプランあり

24時間営業・年中無休

スタッフ対応時間
平日 10:00~16:00 (当日仕上げ締切 13:00 締)

日祝 10:00~18:00 (当日仕上げ締切 14:00 締)

☎0463-20-8121 秦野市平沢50-5

ごみダイエット大作戦



皆様のおかげで
可燃ごみは順調に
減っています!
でももうひとふんばり

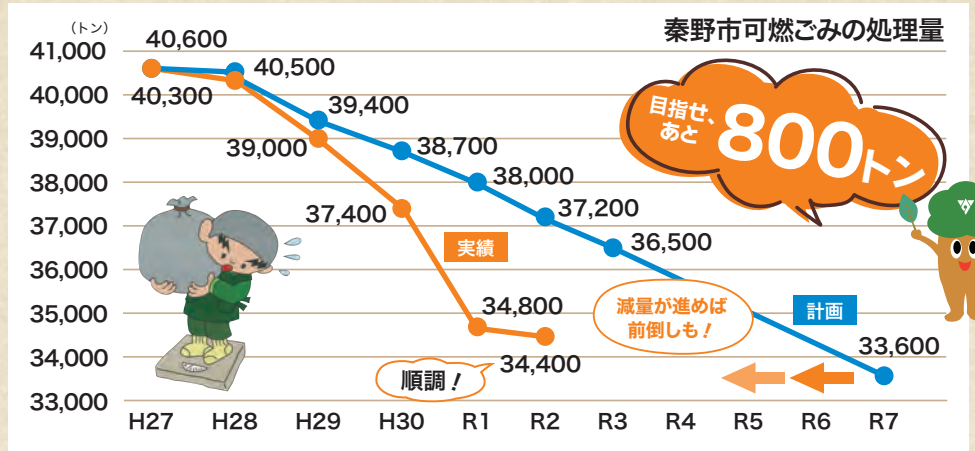
将来の負担軽減につながる「ごみ減量」!1施設化の早期実現へ

秦野市と伊勢原市の可燃ごみは、現在2施設(はだのクリーンセンター、伊勢原清掃工場)で処理していますが、老朽化している伊勢原清掃工場の焼却炉の稼働を停止し、令和7年度末までに、はだのクリーンセンター1施設での焼却体制に移行するため、年間処理量を3万3600トンまであと800トン減らす必要があります。

**秦野市民1人が1日ですす
可燃ごみの量**
※秦野市から排出された可燃ごみを市民1人1日の排出量に換算

令和2年度実績	目標
約 580g	約 566g

1人1日あたり**14g**の減量をお願いします!



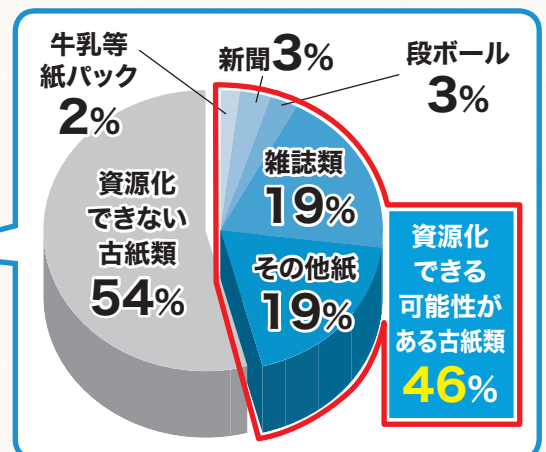
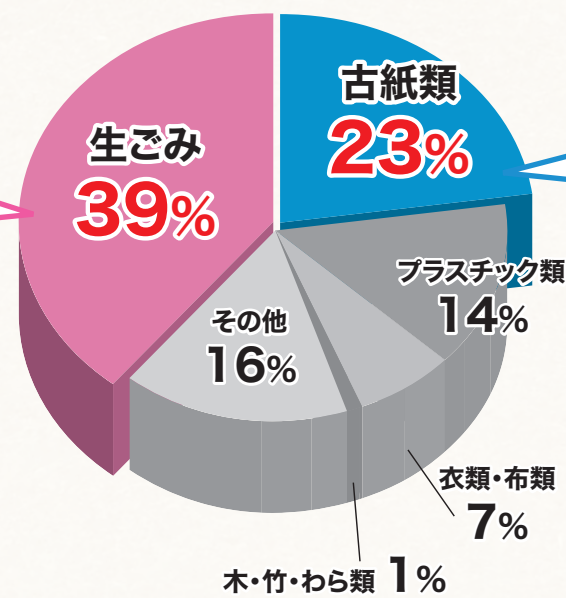
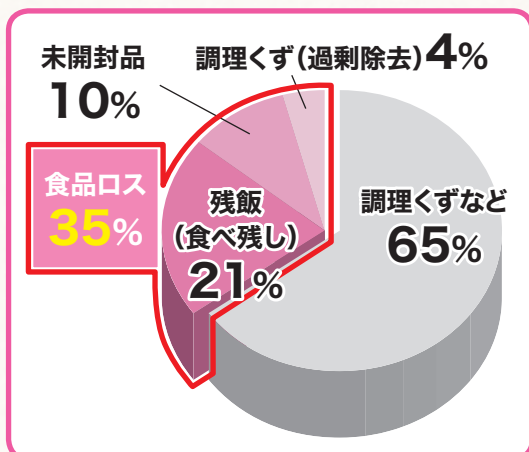
**14gは
さくらんぼ約2個分**

現在、伊勢原清掃工場には可燃ごみの焼却を行うため年間約2億円の修繕などの経費がかかっています。減量が早く進めば、稼働停止の時期を「前倒し」し、1施設化を**早期実現**することで、修繕などの経費を削減できます。

秦野市の家庭から出る可燃ごみの内訳は?

分別の徹底により
更なる減量を

可燃ごみの約6割が
「生ごみ」「古紙類」です。



減量の近道は「食べること」!?
可燃ごみの中で、最も量が多い生ごみの約35%は、実は食べ残しや手つかずの食品など。つまり、減量への近道は「食べること」かもしれません。食べものは無駄なく買って、おいしく食べて、生ごみを減らしましょう。



上の円グラフは家庭から出る「可燃ごみ」の分析結果です。
※令和2~3年度調査(速報値)



紙を「ごみ」から「資源」へ
古紙類の約46%は資源化できる可能性があります。その中でも特に多いのは「雑誌類」「その他紙^{※1}」です。分別を徹底して、古紙類を資源化しましょう!
※1 詳しくは裏面へ



どう捨てる?

スマートフォンで簡単検索
手元でいつでも、ごみの「分別方法」や「ごみ出しの日」を確認できます。

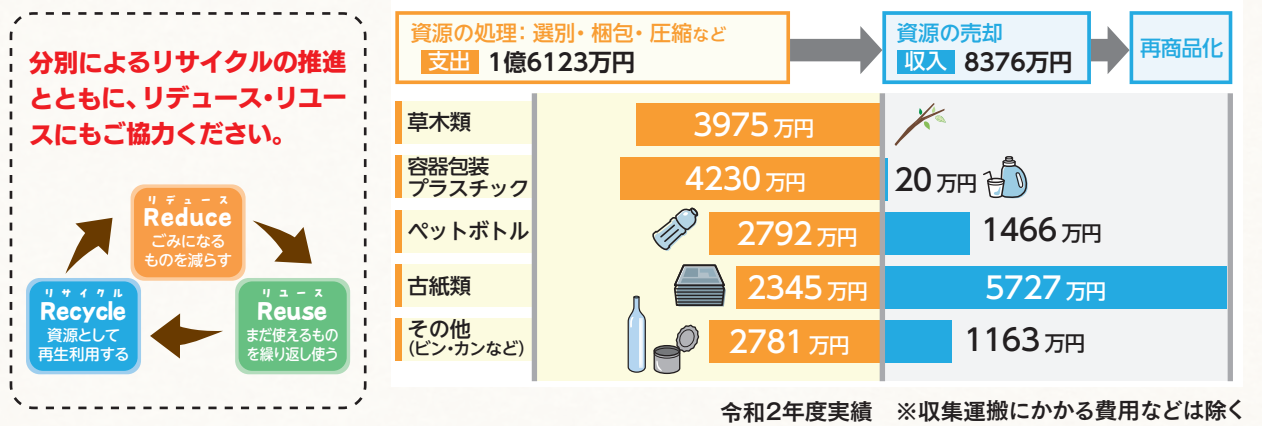
市公式 LINE & アプリ **さんあ〜る**

市LINE公式アカウントでごみの分別方法をキーワード検索できます。

忘れがちなごみ出しの日や最新情報もお知らせします。

数字で考えるリサイクル~持続可能な社会を目指すために~

ごみ収集場所などから回収した資源は、品目ごとに、リサイクルしています。リサイクルは天然資源の使用を少なくし、環境負荷を小さくします。また、品目によっては、市の大切な収入源になります。リサイクルはお金も必要ですが、持続可能な社会の実現には不可欠です。



知っていますか? 「その他紙」こんな紙もリサイクルしています

リサイクルできる古紙類は、新聞、雑誌類、段ボール、牛乳等紙パックのほかにも「その他紙」があります。紙箱、アルミでコーティングされた紙、筒状の紙、レシートやハガキなどは、「その他紙」として資源となり、お菓子の箱などに再生されます。



※「その他紙」は、ひもで束ねるほか、紙袋や封筒にまとめて入れて出すこともできます。

可燃ごみで捨てないで!それは「その他紙」です



※シュレッダーした紙も、透明または半透明の袋に入れ、空気を抜き、口をしっかり縛ってその他紙へ分別してください。

紙袋がないという方必見!
読み終わったチラシなどで「その他紙回収袋」を作ってみよう!



ぬいぐるみやかばんも資源化へ

衣類・布類 こんなものも資源として回収を始めます!

ぬいぐるみやかばんはリユース品として海外へ届けられます。汚れていない清潔なものが対象です。



※革製、布製、化学繊維(ボストンバッグ・リュックサックなど)のものが対象です。プラスチック製やアルミ製のものは対象外です。



衣類・布類も大切な資源です

海外に古着として輸出されるほか、ウエス(機械類の清掃用布)として再利用します。まだ使用可能で清潔な衣類・布類は、資源物として出していただくようお願いいたします。

ごみ収集場所の適切な管理のポイントについて

各自治会で頭を悩ませる問題の一つとして、ごみ収集場所の問題があります。中曽屋自治会では、廃棄物減量等推進員の黒尾さんが中心となり、ごみ収集場所の改善を行っています。



自治会には、廃棄物減量等推進活動に対して、市から交付金が支給されます。収集場所の修理やネットの購入費などに活用してください。

ごみ収集場所の問題は一人では解決できません。市や自治会と協力して、利用者みんなで解決に努めましょう!

ごみ収集場所の問題は早期解決が重要です。不法投棄が多いなど、収集日以外にごみが散乱しているごみ収集場所には、新たなごみが捨てられる悪循環が生まれます。そこで、早期に対応し、収集場所の改善に努めることで、地域全体の美観を守っています。



中曽屋自治会 黒尾さん

事業系ごみも減量中! できることから始めてみよう! CHALLENGE-5%

事業系ごみは5%減量を目標に、適正処理とリサイクルを推進するため、市内全事業所への訪問調査や優良事業所等の認定に取り組んでいます。

秦野市ごみ減量協力店 登録制度が始まります

秦野市ごみ減量協力店

ごみの減量に取り組む **全ての事業者が対象**

主な登録条件

- ごみの適正処理
- マイバッグ持参などの呼びかけ
- 古紙類のリサイクル
- 食べ残し防止の取り組み など

協力店にはステッカーを配布します。

ステッカーには、丹沢の豊かな自然環境を守り続けようというメッセージを含め、宮永岳彦画伯がかつて秦野丹沢まつりのために描いた絵を使用しています。



皆様のご登録をお待ちしています。「小さなことでも、ごみの減量に取り組んでいる」事業者は、環境資源対策課にお問い合わせください。

秦野市分別・リサイクル優良事業所と優良収集運搬許可業者を認定しました

事業系ごみ減量の取り組みとして、適正処理の徹底や資源化の推進などにより減量に積極的に取り組む事業者などを認定するための制度を創設しました。

今回、排出事業者(6事業所)、収集運搬許可業者(2事業所)を認定しました。認定事業者などの取り組みは、事業系ごみの減量モデルとして、その内容を周知していきます。

主な登録条件

- 分別の徹底(従業員への分別ルールの周知)
- 適正処理の徹底(廃プラスチック類などの適正処理)
- 発生抑制(簡易包装の実施、廃棄ロスの削減)
- 資源化の推進(生ごみや古紙類の資源化) など



認定事業者には秦野産スギで作成した看板を交付します。ごみの減量に積極的に取り組む事業者のご応募お待ちしております。

◀左からミアクチーナ、セブンイレブン、秦野市長、(株)タンザワ、(株)イダ

積極的にごみの減量に取り組むモデルケースとなる事業者が対象

- バックヤードに品目ごとのごみ箱を設置して分別徹底
- 資源物などの混入防止のため、ごみ箱を定期的確認
- こちらの事業所では生ごみを燃料にしてバイオマス発電!

いつもごみの減量と資源の分別にご協力いただきありがとうございます。

美しいはだのを 次の世代へ